



③ 保健体育問題の解答について (注意)

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。(マークシート右上の記入方法を参照) 消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「保健体育」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入
 - ア. 小問の解答番号は1から58までの通し番号になっており、例えば、25番を

| |
|----|
| 25 |
|----|

 のように表示してある。
 - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
 - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
 - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

(マークシート記入例)

| | | | |
|------|---------|-----|------|
| フリガナ | ユウベタロウ | | |
| 名前 | 神 戸 太 郎 | 教科名 | 保健体育 |

数字で記入……

| 受験番号 | | | | | 小問番号 | 解答記入欄 | 小問番号 | 解答記入欄 | 小問番号 | 解答 |
|------|---|---|---|---|------|---------------------|------|---------------------|------|---------|
| | | | | | | 1 - 25 | | 26 - 50 | | 51 |
| / | 2 | 3 | 4 | 0 | 1 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 26 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 51 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 27 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 52 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 28 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 53 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 29 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 54 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 30 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 55 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 31 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 56 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 32 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 57 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 33 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 58 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 34 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 59 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 35 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 60 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 36 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 61 | 0 0 0 0 |

【1】平成30年4月から小学校、特別支援学校小学部、平成31年4月から中学校、特別支援学校中学部で全面実施される「特別の教科 道徳」（道徳科）について、下の問いに答えよ。

(1) 道徳科の授業で、「道徳的価値の理解」について指導する際に、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 授業者の意図や工夫による学習を行う。
- ② 特定の価値観を児童生徒に押し付ける指導を行う。
- ③ 道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さについても指導する。
- ④ 道徳的価値を基に、自己を見つめることができるような学習を行う。
- ⑤ 児童生徒自らが様々な視点から物事を理解し、主体的に取り組む学習を行う。

1

(2) 「道徳科の評価」について、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握する。
- ② 教師にとっては、指導の目標や計画、指導方法の改善・充実に取り組むための資料となる。
- ③ 児童生徒の指導に生かすために、数値等による評価を行う。
- ④ 児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価を行う。
- ⑤ 評価に当たっては、道徳科の学習活動に着目し、年間や学期といった一定の時間的なまとまりの中で把握する。

2

(3) 道徳科の評価としての「見取り」について、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 教師や他の児童生徒の発言に聞き入ったり、考えを深めようとしたりしている姿に着目する。
- ② 児童生徒の変容は、学級担任のみで見取る。
- ③ 発言や感想文、質問紙の記述等から見取る。
- ④ 道徳的価値を自分のこととして捉えているか、丁寧に見取る。
- ⑤ 一人一人の学習の困難さに応じた評価につながるよう見取る。

3

【2】 中学校学習指導要領（平成20年3月告示）解説保健体育編に関する内容について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、保健分野の第1学年の内容に関する記述である。文中の（ア）～（カ）にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。

- ・身体には、多くの（ア）が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、（イ）があること。
- ・思春期には、内分泌の働きによって（ウ）機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。
- ・知的機能、情意機能、社会性などの（エ）機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされること。
- ・精神と身体は、相互に影響を与え、かかわっていること。欲求やストレスは、心身に（オ）を与えることがあること。また、（カ）を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。

- | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|----|---|-----|---|---------|---|----|---|----|---|-------|
| ① | ア | 能力 | イ | 個人差 | ウ | 生殖にかかわる | エ | 精神 | オ | 影響 | カ | 生涯の健康 |
| ② | ア | 器官 | イ | 適時期 | ウ | 身体にかかわる | エ | 環境 | オ | 効果 | カ | 生涯の健康 |
| ③ | ア | 能力 | イ | 適時期 | ウ | 身体にかかわる | エ | 環境 | オ | 効果 | カ | 生涯の健康 |
| ハ④ | ア | 器官 | イ | 個人差 | ウ | 生殖にかかわる | エ | 精神 | オ | 影響 | カ | 心の健康 |
| ⑤ | ア | 器官 | イ | 個人差 | ウ | 生殖にかかわる | エ | 環境 | オ | 影響 | カ | 心の健康 |
| ⑥ | ア | 能力 | イ | 適時期 | ウ | 身体にかかわる | エ | 精神 | オ | 効果 | カ | 心の健康 |

- (2) 次の文は、保健体育科の「目標」に関する記述である。文中の(ア)～(キ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

「心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む(ア)を育てる。」

この目標は、究極的な目標である「明るく豊かな生活を営む(ア)を育てる」ことを目指すものである。この目標を達成するためには、運動に興味をもち(イ)に運動をする者とそうでない者に(ウ)していたり、(エ)の乱れやストレス及び(オ)が高まったりしている現状があるといった指摘を踏まえ、引き続き、心と体をより一体としてとらえ、(カ)を促すことが求められることから、体育と(キ)を一層関連させて指導することが重要である。

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----|---|-----|---|-----|---|------|---|-----|---|-------|---|----|
| ① | ア | 姿勢 | イ | 意欲的 | ウ | 二極化 | エ | 生活習慣 | オ | 欲求 | カ | 健全な発達 | キ | 家庭 |
| ② | ア | 姿勢 | イ | 意欲的 | ウ | 交錯 | エ | 食育習慣 | オ | 欲求 | カ | 心身の発達 | キ | 家庭 |
| ③ | ア | 態度 | イ | 活発 | ウ | 二極化 | エ | 生活習慣 | オ | 不安感 | カ | 健全な発達 | キ | 保健 |
| ④ | ア | 姿勢 | イ | 活発 | ウ | 交錯 | エ | 食育習慣 | オ | 不安感 | カ | 健全な発達 | キ | 保健 |
| ⑤ | ア | 態度 | イ | 意欲的 | ウ | 交錯 | エ | 食育習慣 | オ | 欲求 | カ | 心身の発達 | キ | 家庭 |
| ⑥ | ア | 態度 | イ | 活発 | ウ | 二極化 | エ | 生活習慣 | オ | 不安感 | カ | 心身の発達 | キ | 保健 |

- (3) 次の文は、体育分野の第3学年の領域の取り扱いに関する記述である。文中の(ア)～(キ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

第3学年については、「(ア)」「(イ)」を履修させるとともに、運動に共通する特性や魅力に応じて、技を高めたり、記録に挑戦したり、表現したりする楽しさや喜びを味わうことができる「(ウ)」、「(エ)」、「(オ)」、「(カ)」のまとまりから1領域以上を、集団や個人で、相手との攻防を展開する楽しさや喜びを味わうことができる「球技」、「(キ)」のまとまりから1領域以上をそれぞれ選択して履修することができるようにすることとした。

- | | | | | | |
|---|-------------------|-----------------|--------|--------|--------|
| ① | ア 体づくり運動 カ ダンス | イ 体育理論 キ 武道 | ウ 器械運動 | エ 陸上競技 | オ 水泳 |
| ② | ア 体力向上運動 カ 武道 | イ 体育実践 キ ダンス | ウ 球技 | エ 陸上 | オ 水泳競技 |
| ③ | ア 体づくり運動 カ 武道 | イ 体育実践 キ ダンス | ウ 球技 | エ 陸上 | オ 水泳競技 |
| ④ | ア 体力向上運動 カ ダンス | イ 体育理論 キ 武道 | ウ 器械運動 | エ 陸上競技 | オ 水泳 |
| ⑤ | ア 体力向上運動 カ 武道 | イ 体育理論 キ ダンス | ウ 器械運動 | エ 陸上 | オ 水泳 |
| ⑥ | ア 体づくり運動 カ ダンス | イ 体育実践 キ 武道 | ウ 球技 | エ 陸上競技 | オ 水泳競技 |

(4) 次の文は、体育分野の第1学年及び第2学年の「目標」に関する記述である。文中の(ア)～(キ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

・運動の合理的な(ア)を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、(イ)を豊かに実践することができるようにする。

・運動を適切に行うことによって、(ウ)を高め、心身の(エ)発達を図る。

・運動における競争や協同の経験を通して、(オ)に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、(カ)に留意し、自己の最善を尽くして運動をする(キ)を育てる。

- ① ア 活動 イ 健康 ウ 知識 エ 協調的 オ 真摯 カ 健康・疾病 キ 姿勢
- ② ア 活動 イ 健康 ウ 知識 エ 協調的 オ 公正 カ 健康・疾病 キ 姿勢
- ③ ア 実践 イ 健康 ウ 体力 エ 協調的 オ 真摯 カ 健康・安全 キ 姿勢
- ④ ア 実践 イ 運動 ウ 知識 エ 調和的 オ 真摯 カ 健康・安全 キ 態度
- ⑤ ア 活動 イ 運動 ウ 知識 エ 調和的 オ 公正 カ 健康・疾病 キ 態度
- ⑥ ア 実践 イ 運動 ウ 体力 エ 調和的 オ 公正 カ 健康・安全 キ 態度

7

(5) 次の文は、第3学年の器械運動の「態度」に関する記述である。文中の(ア)～(オ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

器械運動に(ア)に取り組むとともに、(イ)を^{また}讀えようとする事、(ウ)を果たそうとすることなどや、健康・(エ)を(オ)することができるようにする。

- ① ア 客観的 イ よい演技 ウ 自己の責任 エ 安全 オ 確保
- ② ア 自主的 イ よい演技 ウ 自己の責任 エ 安全 オ 確保
- ③ ア 自主的 イ 素晴らしい技能 ウ 他者の責任 エ 成長 オ 維持
- ④ ア 客観的 イ 素晴らしい技能 ウ 他者の責任 エ 成長 オ 維持
- ⑤ ア 客観的 イ 素晴らしい技能 ウ 他者の責任 エ 安全 オ 確保
- ⑥ ア 自主的 イ よい演技 ウ 自己の責任 エ 成長 オ 維持

8

- (6) 次の文は、第3学年の体育理論の「文化としてのスポーツの意義」に関する記述である。文中の(ア)～(カ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする。

- ・スポーツは(ア)を営み、よりよく(イ)のために重要であること。
- ・オリンピックや(ウ)なスポーツ大会などは、国際親善や(エ)に大きな役割を果たしていること。
- ・スポーツは、(オ)、人種や性、(カ)などを超えて人々を結び付けていること。

- ① ア 文化的な生活 イ 協力する ウ 国民的 エ 人類平和 オ 民衆や政治 カ 思想の違い
 ② ア 民主的な生活 イ 生きていく ウ 国際的 エ 世界平和 オ 民衆や政治 カ 思想の違い
 ③ ア 民主的な生活 イ 協力する ウ 国民的 エ 人類平和 オ 民衆や政治 カ 思想の違い
 ④ ア 民主的な生活 イ 協力する ウ 国際的 エ 人類平和 オ 民族や国 カ 障害の違い
 ⑤ ア 文化的な生活 イ 生きていく ウ 国際的 エ 世界平和 オ 民族や国 カ 障害の違い
 ⑥ ア 文化的な生活 イ 生きていく ウ 国民的 エ 世界平和 オ 民族や国 カ 障害の違い

9

- (7) 次の文は、第1学年及び第2学年の武道に関する記述である。文中の(ア)～(カ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

武道は、武技、武術などから発生した我が国(ア)であり、(イ)に応じて、基本動作や基本となる技を身に付け、相手を攻撃したり相手の技を(ウ)したりすることによって、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。また、武道に(エ)に取り組むことを通して、武道の(オ)な考え方を理解し、相手を(カ)して練習や試合ができるようにすることを重視する運動である。

- ① ア 独自の文化 イ 相手の動き ウ 利用 エ 意欲的 オ 継承的 カ 尊重
 ② ア 固有の文化 イ 相互の動き ウ 利用 エ 意欲的 オ 継承的 カ 尊敬
 ③ ア 固有の文化 イ 相手の動き ウ 防御 エ 積極的 オ 伝統的 カ 尊重
 ④ ア 独自の文化 イ 相互の動き ウ 利用 エ 意欲的 オ 継承的 カ 尊敬
 ⑤ ア 固有の文化 イ 相手の動き ウ 利用 エ 積極的 オ 伝統的 カ 尊重
 ⑥ ア 独自の文化 イ 相互の動き ウ 防御 エ 積極的 オ 伝統的 カ 尊敬

10

【3】 高等学校学習指導要領（平成21年3月告示）解説保健体育編・体育編に関する内容について、次の問いに答えよ。

(1) (入学年次)、(その次の年次)、(それ以降の年次)のうち、(入学年次)の「体育」の領域及び内容の取扱い(A体づくり運動・B器械運動・C陸上競技・D水泳・E球技・F武道・Gダンス・H体育理論)の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① AとHが必修・BCDEFGから2つを選択
- ② AとDが必修・BCGHから1以上選択・EFから1以上選択
- ③ AとHが必修・BCDEFGから1以上選択
- ④ AとDが必修・EFGHから2つを選択・BCから1以上選択
- ⑤ AとDが必修・BCEHから2以上選択・FGから1以上選択
- ⑥ AとHが必修・BCDGから1以上選択・EFから1以上選択

11

(2) 次の文は、保健の「目標」に関する記述である。文中の(ア)～(カ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

個人及び(ア)における(イ)について理解を(ウ)ようにし、(エ)を通じて自らの健康を(オ)に管理し、改善していく資質や(カ)を育てる。

- | | | | | | | |
|---|--------|---------|-------|------|-------|------|
| ① | ア 社会生活 | イ 健康・安全 | ウ 深める | エ 生涯 | オ 適切 | カ 能力 |
| ② | ア 社会生活 | イ 健康・保健 | ウ 繋げる | エ 他者 | オ 定期的 | カ 適正 |
| ③ | ア 集団生活 | イ 健康・保健 | ウ 深める | エ 生涯 | オ 定期的 | カ 能力 |
| ④ | ア 集団生活 | イ 健康・保健 | ウ 繋げる | エ 他者 | オ 定期的 | カ 適正 |
| ⑤ | ア 社会生活 | イ 健康・安全 | ウ 繋げる | エ 生涯 | オ 適切 | カ 能力 |
| ⑥ | ア 集団生活 | イ 健康・安全 | ウ 深める | エ 他者 | オ 適切 | カ 適正 |

12

(3) 体育理論の「豊かなスポーツライフの設計の仕方」について正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① ア スポーツの歴史的発展と変容
イ ライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方
ウ スポーツ振興のための施策と諸条件
エ スポーツと環境

- ② ア 各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方
イ 運動やスポーツの技能の上達過程
ウ スポーツ振興のための施策と諸条件
エ スポーツと環境

- ③ ア 各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方
イ ライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方
ウ オリンピックムーブメントとドーピング
エ スポーツと環境

- ④ ア スポーツの歴史的発展と変容
イ 運動やスポーツの技能の上達過程
ウ オリンピックムーブメントとドーピング
エ 運動やスポーツの技能と体力の関係

- ⑤ ア 各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方
イ ライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方
ウ スポーツ振興のための施策と諸条件
エ スポーツと環境

- ⑥ ア 各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方
イ ライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方
ウ スポーツ振興のための施策と諸条件
エ 運動やスポーツの技能と体力の関係

- (4) 次の文は、ダンスの「技能」に関する記述である。文中の(ア)～(カ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

次の運動について、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。

- ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしい(ア)をとらえ、個や群で、(イ)の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、(ア)を強調した作品にまとめたりして踊ること。
- ・フォークダンスでは、(ウ)を強調して、音楽に合わせて多様なステップや(エ)で仲間と対応して踊ること。
- ・現代的なリズムのダンスでは、(オ)を強調して全身で自由に踊ったり、(カ)を付けて仲間と対応したりして踊ること。

- | | | | |
|---|--------------------|------------------------------|------------------------|
| ① | ア イメージ エ 動きの緩急 | イ 同調の動きや時間 オ リズムの特徴 | ウ 踊り方の特徴 カ 変化とまとまり |
| ② | ア 題材 エ 動きの緩急 | イ 同調の動きや時間 オ ダイナミックなアクセント | ウ 単調な繰り返し カ 独自の振付け |
| ③ | ア 題材 エ 動きの緩急 | イ 対極の動きや空間 オ ダイナミックなアクセント | ウ 単調な繰り返し カ 独自の振付け |
| ④ | ア イメージ エ 動きと組み方 | イ 対極の動きや空間 オ リズムの特徴 | ウ 踊り方の特徴 カ 変化とまとまり |
| ⑤ | ア 題材 エ 動きと組み方 | イ 同調の動きや時間 オ ダイナミックなアクセント | ウ 単調な繰り返し カ 変化とまとまり |
| ⑥ | ア イメージ エ 動きと組み方 | イ 対極の動きや空間 オ リズムの特徴 | ウ 踊り方の特徴 カ 独自の振付け |

- (5) 次の文は、陸上競技の「態度」に関する記述である。文中の(ア)～(カ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

陸上競技に(ア)に取り組むとともに、(イ)などを冷静に受け止め、(ウ)を大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け(エ)を果たそうとすること、(オ)に貢献しようとする事などや、(カ)を確保することができるようにする。

- | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|----|---|---------|---|-------|---|------|---|-------|
| ① | ア | 積極的 | イ | 記録 | ウ | 感謝と友情 | エ | 自己の役割 | オ | 課題解決 | カ | 健康・安心 |
| ② | ア | 主体的 | イ | 勝敗 | ウ | ルールやマナー | エ | 自己の責任 | オ | 合意形成 | カ | 健康・安全 |
| ③ | ア | 積極的 | イ | 勝敗 | ウ | 感謝と友情 | エ | 自己の責任 | オ | 合意形成 | カ | 健康・安全 |
| ④ | ア | 積極的 | イ | 勝敗 | ウ | ルールやマナー | エ | 自己の役割 | オ | 課題解決 | カ | 健康・安全 |
| ⑤ | ア | 主体的 | イ | 記録 | ウ | ルールやマナー | エ | 自己の責任 | オ | 合意形成 | カ | 健康・安心 |
| ⑥ | ア | 主体的 | イ | 記録 | ウ | 感謝と友情 | エ | 自己の役割 | オ | 課題解決 | カ | 健康・安心 |

15

- (6) 次の文は、球技の「知識、思考・判断」に関する記述である。文中の(ア)～(カ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

技術などの(ア)や(イ)、体力の(ウ)、課題解決の方法、(エ)の仕方などを理解し、チームや(オ)に応じた運動を(カ)するための取り組み方を工夫できるようにする。

- | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-------|---|----|
| ① | ア | 名称 | イ | 行い方 | ウ | 上げ方 | エ | 競技会 | オ | 自己の課題 | カ | 継続 |
| ② | ア | 意義 | イ | 行い方 | ウ | 高め方 | エ | 競技会 | オ | 個人の問題 | カ | 継続 |
| ③ | ア | 名称 | イ | 使い方 | ウ | 上げ方 | エ | 審判 | オ | 自己の課題 | カ | 持続 |
| ④ | ア | 名称 | イ | 行い方 | ウ | 高め方 | エ | 競技会 | オ | 自己の課題 | カ | 継続 |
| ⑤ | ア | 意義 | イ | 使い方 | ウ | 高め方 | エ | 審判 | オ | 個人の問題 | カ | 持続 |
| ⑥ | ア | 意義 | イ | 使い方 | ウ | 上げ方 | エ | 審判 | オ | 個人の問題 | カ | 持続 |

16

【4】保健分野に関する内容について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、生活に伴う廃棄物の衛生管理に関する記述である。正誤の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア 家庭から出されるごみは、市町村や地域団体などで収集され、焼却されたり、埋め立て場に捨てられ
たりしているが、一部は資源として再利用されている。

イ ごみを焼却するときに排出されるダイオキシンは人体に有害であるため、ごみ焼却施設はダイオキシ
ン排出量が規制されているが、家庭でのごみの野外焼却は認められている。

ウ し尿と生活雑排水を合わせて生活排水という。

エ 下水道の整備が困難な山間部などでは、単独浄化槽の整備が進められている。

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ ○ |
| ② | ア ○ | イ × | ウ × | エ × |
| ③ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ × |
| ④ | ア × | イ ○ | ウ × | エ ○ |
| ⑤ | ア × | イ ○ | ウ ○ | エ ○ |
| ⑥ | ア × | イ ○ | ウ × | エ × |

17

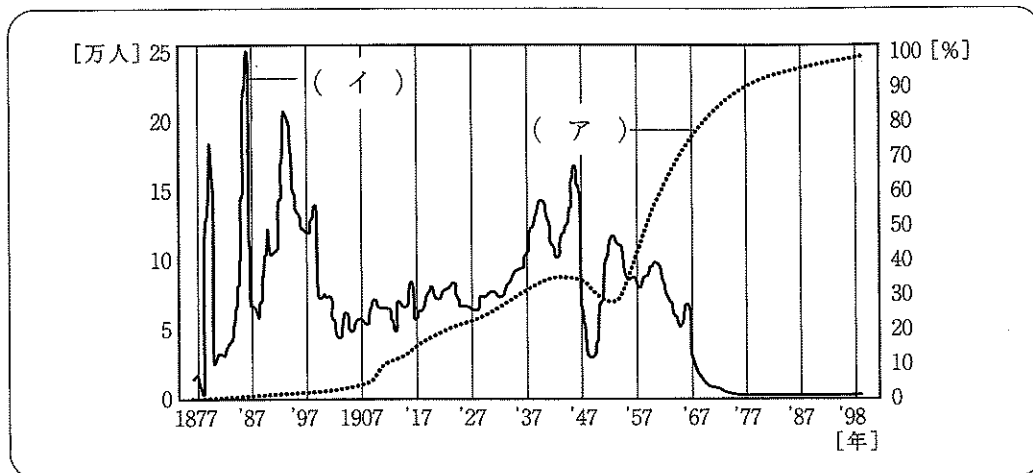
(2) 次の文は、活動に適する環境に関する記述である。文中の(ア)～(オ)にあてはまる語句の正しい組合
せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

わたしたちは、暑さや寒さを気温・(ア)・(イ)の三つの条件の組合せで感じ取っている。
上記の生活や活動がしやすい三つの条件の組合せを(ウ)条件の至適範囲という。この範囲内
では体温を無理なく一定に保つことができる。この条件の至適範囲をこえると学習や作業の能率が
(エ)することがある。この条件の至適範囲は活動の(オ)。

- | | | | | | |
|---|------|------|------|------|-----------------|
| ① | ア 体温 | イ 照度 | ウ 温度 | エ 向上 | オ 内容にかかわらず変わらない |
| ② | ア 湿度 | イ 照度 | ウ 温熱 | エ 向上 | オ 内容により異なる |
| ③ | ア 湿度 | イ 気流 | ウ 温度 | エ 低下 | オ 内容にかかわらず変わらない |
| ④ | ア 体温 | イ 気流 | ウ 温熱 | エ 向上 | オ 内容により異なる |
| ⑤ | ア 湿度 | イ 気流 | ウ 温熱 | エ 低下 | オ 内容により異なる |
| ⑥ | ア 体温 | イ 照度 | ウ 温度 | エ 低下 | オ 内容にかかわらず変わらない |

18

(3) 次のグラフは、日本の水道の普及率と病原体に汚染された水による感染症患者数の変化を示したものである。グラフの考察として、(ア)～(オ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。



(日本水道協会「水道のあらし」)

1957年以降、(ア)は急激に上昇し、(イ)は急激に減少した。水道施設が普及することに伴い、衛生的な飲料水が(ウ)供給されるようになったため、人々が(エ)に汚染された水を飲むことも激減し、感染症患者数も(オ)したと考えられる。

- | | | | | | |
|---|----------|----------|--------|-----------|------|
| ① | ア 水道普及率 | イ 感染症患者数 | ウ 安定して | エ 病原体 | オ 激減 |
| ② | ア 感染症患者数 | イ 水道水普及率 | ウ 安定して | エ 光化学スモッグ | オ 増加 |
| ③ | ア 水道普及率 | イ 感染症患者数 | ウ 比較的 | エ 光化学スモッグ | オ 激減 |
| ④ | ア 感染症患者数 | イ 水道水普及率 | ウ 比較的 | エ 光化学スモッグ | オ 増加 |
| ⑤ | ア 水道普及率 | イ 感染症患者数 | ウ 安定して | エ 病原体 | オ 増加 |
| ⑥ | ア 感染症患者数 | イ 水道水普及率 | ウ 比較的 | エ 病原体 | オ 激減 |

- (4) 次の文は、地震時による災害の状況を表した記述である。文中の下線部 (ア)～(オ) について、一次災害と二次災害の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

グラグラ、ガシャーン。激しい揺れのたびに家がきしむ。^(ア)タンスが倒れ、物が壊れる音、ゴーゴーという不気味な地鳴りがいつまでも続く。揺れがおさまり外へ出てみると^(イ)地面に割れ目が生じていた。また、近くで^(ウ)火災も発生している。情報を得るためテレビをつけようとしたが、停電しておりつかなかった。ラジオをつけると、^(エ)津波の注意を促すアナウンスが流れている。^(オ)家のブロック塀が倒れているのをみると被害の大きさが分かる。津波が来る前に高台へ避難することにした。

- | | | | | | |
|---|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① | ア 一次災害 | イ 二次災害 | ウ 一次災害 | エ 一次災害 | オ 二次災害 |
| ② | ア 二次災害 | イ 一次災害 | ウ 一次災害 | エ 一次災害 | オ 二次災害 |
| ③ | ア 二次災害 | イ 一次災害 | ウ 二次災害 | エ 二次災害 | オ 一次災害 |
| ④ | ア 一次災害 | イ 二次災害 | ウ 一次災害 | エ 二次災害 | オ 二次災害 |
| ⑤ | ア 二次災害 | イ 一次災害 | ウ 二次災害 | エ 一次災害 | オ 一次災害 |
| ⑥ | ア 一次災害 | イ 二次災害 | ウ 二次災害 | エ 二次災害 | オ 一次災害 |

20

- (5) 次の文は、個人の健康を守る社会の取組に関する記述である。文中の (ア)～(オ) にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

(ア) や感染症などは自覚症状を伴わない場合もあり、気づかないうちに病気が進行したり、ほかの人から感染してしまうことがある。このように、個人の取り組みだけでは十分に対応できない健康課題も少なくない。

そこで市町村などの地域では、国の定めた (イ) などの法律によって健康診断や、心やからだの健康相談などの (ウ) を行っている。健康的な生活を送るためには、周りの人々や (エ) の取組などに支えられながら、自ら積極的に努力することが重要である。このような考え方を (オ) という。

- | | | | | | |
|---|---------|---------|--------|------|--------------|
| ① | ア 生活習慣 | イ 地域保健法 | ウ 教育活動 | エ 家庭 | オ ゴールデンプラン |
| ② | ア 生活習慣病 | イ 健康増進法 | ウ 保健活動 | エ 社会 | オ ヘルスプロモーション |
| ③ | ア 生活習慣 | イ 健康増進法 | ウ 保健活動 | エ 家庭 | オ ヘルスプロモーション |
| ④ | ア 生活習慣病 | イ 地域保健法 | ウ 教育活動 | エ 社会 | オ ゴールデンプラン |
| ⑤ | ア 生活習慣 | イ 健康増進法 | ウ 教育活動 | エ 社会 | オ ゴールデンプラン |
| ⑥ | ア 生活習慣病 | イ 地域保健法 | ウ 保健活動 | エ 家庭 | オ ヘルスプロモーション |

21

(6) 次の文は、薬物乱用と健康に関する記述である。正誤の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア 薬物乱用とは医薬品を医療の目的から外れて使用したり、医療が目的でない薬物を不正に使用したりすることをいう。
- イ 覚せい剤を乱用すると、気分が高まったり、疲労感がとれたように感じたりする。しかし、薬がきれると、激しい脱力感・疲労感・憂鬱感におそわれる。
- ウ 薬物乱用を繰り返すうちに薬物依存の状態になり、自分の意志ではやめることができなくなる。
- エ 大麻を乱用すると、感覚が異常になったり、精神が錯乱状態になったり、幻覚や妄想が現れたりする。
- オ 大麻の乱用を繰り返すと、思考力が向上し、気力が出てくる。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア × | イ ○ | ウ ○ | エ ○ | オ ○ |
| ② | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ × | オ ○ |
| ③ | ア ○ | イ ○ | ウ ○ | エ ○ | オ × |
| ④ | ア × | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ ○ |
| ⑤ | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ × |
| ⑥ | ア ○ | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ × |

22

(7) 次の文は、私たちの健康のすがたに関する記述である。文中の(ア)～(オ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

わが国の(ア)がどのような状況にあるのかを知るために、平均寿命や(イ)死亡率などの(ウ)が用いられる。

健康問題は時代とともに変化する。わが国では、1900年代半ばまでは、結核などの(エ)による死亡が多く見られたが、現在は大幅に減少している。

その代わりに、がん、心臓病、脳卒中で死亡する人が、日本人の死者数全体の約60%を占めるようになった。これらの病気の発病や進行には、多くの場合、食事や運動、喫煙などが大きくかかわっている。そのような病気を(オ)と呼んでいる。

- | | | | | | |
|---|--------|------|---------|---------|---------|
| ① | ア 健康水準 | イ 乳児 | ウ 健康指標 | エ 感染症 | オ 生活習慣病 |
| ② | ア 生活水準 | イ 幼児 | ウ 死亡率指標 | エ 生活習慣病 | オ 感染症 |
| ③ | ア 生活水準 | イ 乳児 | ウ 健康指標 | エ 感染症 | オ 生活習慣病 |
| ④ | ア 健康水準 | イ 乳児 | ウ 死亡率指標 | エ 感染症 | オ 生活習慣病 |
| ⑤ | ア 健康水準 | イ 幼児 | ウ 健康指標 | エ 生活習慣病 | オ 感染症 |
| ⑥ | ア 生活水準 | イ 乳児 | ウ 死亡率指標 | エ 生活習慣病 | オ 感染症 |

23

(8) 次の文は、呼吸器官・循環器官の発育・発達に関する記述である。正誤の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア 呼吸器官の発育は、呼吸数や肺活量によって知ることができる。

イ 呼吸器官が発育すると、肺活量が増え、呼吸数が多くなる。

ウ 循環器官の発育には、拍出量や心拍数が関連している。

エ 循環器官が発育すると、心臓が大きくなって収縮する力が強くなるため、1回の拍出量が減り、心拍数は増える。

オ 身体機能の発育・発達が盛んな時期に長時間行う運動を続けると肺活量が増え、心臓も発育・発達する。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア × | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ × |
| ② | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ × | オ ○ |
| ③ | ア × | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ ○ |
| ④ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ × | オ × |
| ⑤ | ア × | イ × | ウ ○ | エ × | オ ○ |
| ⑥ | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ × |

24

(9) 次の文は、心肺蘇生の意義と原理に関する記述である。文中の(ア)～(オ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

けがや病気で、心肺停止などの状態におちいったときに、(ア)や人工呼吸を行うことを心肺蘇生という。これによって、(イ)に血液循環と呼吸の働きを確保する。

(ア)とは、胸部の圧迫を繰り返して心臓内から血液を送り出す方法のことである。(ア)によって送り出される血液の量は、通常の(ウ)程度しか確保できないが、それだけの量でも(エ)の障害を防ぐことができる。

人工呼吸では、救助者の息を傷病者に吹き込む。人の吐く息のなかには16～18%の(オ)(空气中は約21%)が含まれており、緊急時の生命の維持にも十分有効である。

- | | | | | | |
|---|--------|-------|--------|------|---------|
| ① | ア AED | イ 人工的 | ウ 3分の1 | エ 心臓 | オ 二酸化炭素 |
| ② | ア AED | イ 人工的 | ウ 4分の1 | エ 心臓 | オ 酸素 |
| ③ | ア 胸骨圧迫 | イ 自然 | ウ 3分の1 | エ 脳 | オ 二酸化炭素 |
| ④ | ア 胸骨圧迫 | イ 人工的 | ウ 3分の1 | エ 脳 | オ 酸素 |
| ⑤ | ア AED | イ 自然 | ウ 4分の1 | エ 心臓 | オ 二酸化炭素 |
| ⑥ | ア 胸骨圧迫 | イ 自然 | ウ 4分の1 | エ 脳 | オ 酸素 |

25

(10) 次の文は、ストレスへの対処と心の健康に関する記述である。正誤の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア ストレスの原因は、外の世界（環境）にあり、心の中のことが原因となることはない。
- イ ストレスを感じる場合があるのは自然なことであり、その感じ方には個人差がある。
- ウ ストレスがないほうが心身の健康にもよく、心の発達にもよい影響を与える。
- エ ストレスの原因を変えられない場合には、さまざまな方法で、自分の考え方を切り替えたり、感情を静めたりすることが必要である。
- オ 心を強くするためにも、ストレスには一人で対処することが望ましい。

- ① ア ○ イ ○ ウ × エ × オ ×
- ② ア ○ イ ○ ウ ○ エ × オ ×
- ③ ア ○ イ × ウ × エ ○ オ ○
- ④ ア × イ ○ ウ × エ × オ ○
- ⑤ ア × イ ○ ウ × エ ○ オ ×
- ⑥ ア × イ × ウ ○ エ ○ オ ○

26

(11) 次の文は、体の発育・発達に関する記述である。文中の（ア）～（オ）にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

生まれてから大人になるまでの間に、身長や体重が急激に発育する時期が（ア）ある。これを（イ）という。各器官は、同じ時期に同じように発育するわけではない。小学生のころまでに発育・発進が進んでいる器官は神経や（ウ）である。中学生のころは（エ）や循環器官、さらに（オ）が発育・発進する時期である。また、各器官の発育・発進の時期や程度も、個人差がある。

- ① ア 2回 イ 発育急進期 ウ リンパ器官 エ 呼吸器官 オ 生殖器官
- ② ア 3回 イ 発育曲線 ウ 生殖器官 エ リンパ器官 オ 呼吸器官
- ③ ア 2回 イ 発育急進期 ウ 生殖器官 エ リンパ器官 オ 呼吸器官
- ④ ア 3回 イ 発育急進期 ウ リンパ器官 エ 呼吸器官 オ 生殖器官
- ⑤ ア 2回 イ 発育曲線 ウ リンパ器官 エ 呼吸器官 オ 生殖器官
- ⑥ ア 3回 イ 発育曲線 ウ リンパ器官 エ 呼吸器官 オ 生殖器官

27

(12) 次の文は、新しい生命の誕生に関する記述である。正誤の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア 通常1個の卵子に1個の精子がはいりこみ合体する。これを受精という。
イ 受精卵は、細胞分裂を繰り返しながら約1週間で子宮に運ばれ、厚くなった子宮内膜のなかに包み込まれ、胎盤がではじめる。
ウ 妊娠8～11週ごろに多くの母親たちが訴える食欲不振や吐き気などのことをつわりという。
エ 妊娠後期には、高血圧やたんぱく尿などの症状をともなう妊娠高たんぱく症という病気にも注意が必要である。
オ 胎児は産道を通り、圧迫から開放され娩出された瞬間に、新生児は自力で呼吸をはじめめる。このときの泣き声を初声という。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア × | イ ○ | ウ ○ | エ ○ | オ ○ |
| ② | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ ○ |
| ③ | ア × | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ ○ |
| ④ | ア × | イ × | ウ × | エ ○ | オ × |
| ⑤ | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ × | オ × |
| ⑥ | ア ○ | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ × |

28

(13) 次の文は、欲求と適応機制に関する記述である。ア～オの内容を表す語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア 一次的欲求ともいわれ、人間が生まれつきもっている欲求。
イ 心のなかでいくつかの欲求が同時に存在し、そのどちらかを選択するのに思い悩むこと。
ウ 適応機制のうち、もっともらしい理由をつけて自分を正当化すること。
エ 欲求が満たされない状態。
オ 二次的欲求ともいわれ、社会生活をするなかで生まれてくる欲求。

- | | | | | | |
|---|---------|------|-------|--------|---------|
| ① | ア 心理的欲求 | イ 抑圧 | ウ 同一化 | エ 逃避 | オ 生理的欲求 |
| ② | ア 生理的欲求 | イ 葛藤 | ウ 合理化 | エ 欲求不満 | オ 心理的欲求 |
| ③ | ア 生理的欲求 | イ 葛藤 | ウ 同一化 | エ 欲求不満 | オ 心理的欲求 |
| ④ | ア 心理的欲求 | イ 葛藤 | ウ 合理化 | エ 逃避 | オ 生理的欲求 |
| ⑤ | ア 生理的欲求 | イ 抑圧 | ウ 合理化 | エ 欲求不満 | オ 心理的欲求 |
| ⑥ | ア 心理的欲求 | イ 葛藤 | ウ 同一化 | エ 逃避 | オ 生理的欲求 |

29

- (14) 次の文は、医薬品の利用に関する事例である。A君はこれを読んで、「処方薬の正しい服用」をア～オにまとめた。A君のまとめをみて、正誤の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

「医薬品の利用」に関する事例

風邪をひいたので病院に行き薬を処方してもらい、コップ一杯の湯冷ましで飲んだ。薬は2種類あった。1種類目は「食間」と書いてあったので、食事の最中に飲んだ。2種類目は「食後」と書いてあったので、食事が終わってから20分後に薬を飲んだ。高熱だったこともあり、早く下げようとして、決められた使用量より多く飲んで寝た。

妹が体調不良をうったえ、同様の症状だった。5日間分の薬が処方されていたが自分の体調はよくなったので、残りの薬を全て妹に服用させた。

A君のまとめ

- ア 飲みやすいように牛乳やジュースで飲んでもよい。
イ 「食間」と書いてある薬は、食後2時間程度で飲んだほうがよい。
ウ 決められた分量より多く飲むではない。
エ 自覚症状がなくても服用をやめない（医師の指示に従う）
オ 処方された薬を他人にあげてはならない。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア ○ | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ × |
| ② | ア ○ | イ × | ウ × | エ × | オ ○ |
| ③ | ア × | イ × | ウ ○ | エ × | オ × |
| ④ | ア × | イ ○ | ウ ○ | エ ○ | オ ○ |
| ⑤ | ア ○ | イ × | ウ × | エ ○ | オ ○ |
| ⑥ | ア × | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ × |

(15) 下の絵を見て、犯罪防止につながる正誤の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ア 周囲に大きな木がたくさんあり、周りから見えにくいいため、犯罪防止につながっている。
- イ 街灯がなく夜間に利用する人が少ないため、犯罪防止につながっている。
- ウ 柵などの囲いがなく誰でも自由に出入りができるため、犯罪防止につながっていない。
- エ ごみの放置や落書きがあり、地域の関心が低いいため、犯罪防止につながっていない。
- オ 公衆便所は、周辺の道路、住宅等からの見通しを確保することが、犯罪防止につながっている。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ × | オ × |
| ② | ア × | イ ○ | ウ ○ | エ ○ | オ × |
| ③ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ × | オ × |
| ④ | ア × | イ ○ | ウ × | エ × | オ ○ |
| ⑤ | ア × | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ ○ |
| ⑥ | ア ○ | イ × | ウ × | エ ○ | オ ○ |

【5】 体育分野に関する内容について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、新体力テストに関する記述である。(ア)～(オ) にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

| 種目名 | 記録方法 |
|--------|---|
| 握力 | 右左交互に2回ずつ実施する。各回の記録はkg単位とし、kg未満は切り捨てる。右左それぞれよいほうの記録をとり、その平均値を記入する。平均値の記録はkg単位とし、kg未満は(ア)。 |
| 長座体前屈 | 記録の単位はcmとし、cm未満は(イ)。2回実施し、よいほうの記録とする。 |
| 反復横跳び | それぞれの線を通過するごとに1点とし、(ウ)秒間の点数を記録する。 |
| 50 m 走 | 記録は1/10秒単位とし、1/10秒未満は(エ)。 |
| 立ち幅跳び | 記録はcm単位とし、cm未満は(オ)。 |

- ① ア 四捨五入する イ 切り捨てる ウ 15 エ 切り上げる オ 切り捨てる
- ② ア 切り捨てる イ 四捨五入する ウ 15 エ 切り捨てる オ 切り捨てる
- ③ ア 切り捨てる イ 切り捨てる ウ 20 エ 四捨五入する オ 四捨五入する
- ④ ア 切り捨てる イ 四捨五入する ウ 20 エ 四捨五入する オ 切り捨てる
- ⑤ ア 切り捨てる イ 切り捨てる ウ 15 エ 切り捨てる オ 四捨五入する
- ⑥ ア 四捨五入する イ 切り捨てる ウ 20 エ 切り捨てる オ 切り捨てる

32

(2) 次の文は、器械運動に関する記述である。(ア)～(エ) にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ・ マット運動の「頭はねおき」は、(ア)系の技である。
- ・ 鉄棒運動の「後方支持回転」は、(イ)系の技である。
- ・ 平均台運動の「片足ターン」は、(ウ)系の技である。
- ・ 跳び箱運動の「かかえ込み跳び」は、(エ)系の技である。

- ① ア 回転 イ 支持 ウ バランス エ 切り返し
- ② ア 巧技 イ 支持 ウ バランス エ 回転
- ③ ア 回転 イ 回転 ウ 体操 エ 回転
- ④ ア 巧技 イ 回転 ウ 体操 エ 回転
- ⑤ ア 回転 イ 支持 ウ 体操 エ 切り返し
- ⑥ ア 巧技 イ 支持 ウ バランス エ 切り返し

33

(3) 次の文は、陸上競技におけるリレーのルールに関する記述である。正誤の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア リレーのバトンは、テイクオーバーゾーン内で受け渡さなければならない（バトンパスはバトンの位置ではなく、競技者の位置で判断される）。

イ バトンは、手以外で持ち運んでもよい。

ウ バトンパス中に次走者の手にバトンがふれてから落とした場合は、バトンはどちらの競技者が拾ってもよい。

エ バトンの受け渡しを終えた競技者は、他の妨害にならないように速やかにレーン外へ出なければならない。

オ 第1走者はクラウチングスタートの姿勢を取ったとき、バトンはスタートラインやレーン内の敷地に触れてよい。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア × | イ ○ | ウ × | エ × | オ × |
| ② | ア ○ | イ ○ | ウ ○ | エ ○ | オ ○ |
| ③ | ア × | イ × | ウ × | エ ○ | オ × |
| ④ | ア × | イ × | ウ ○ | エ × | オ ○ |
| ⑤ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ × | オ ○ |
| ⑥ | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ × |

34

(4) 陸上競技において、次の各種目を、「Aトラック競技」「Bフィールド競技」に分類した場合の正しい組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア 砲丸投げ イ 3000m ウ 走り高跳び エ 110mH オ 4×100mR

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア B | イ B | ウ A | エ B | オ B |
| ② | ア A | イ A | ウ B | エ A | オ B |
| ③ | ア B | イ A | ウ B | エ A | オ A |
| ④ | ア A | イ B | ウ A | エ A | オ A |
| ⑤ | ア B | イ A | ウ B | エ B | オ A |

35

(5) 次の文は、水泳競技のルールに関する記述である。適切でないものを選び、番号で答えよ。

- ① 競技中にプールの底に立つことは、自由形競技やメドレー競技の自由形種目に限っては違反にならない。
- ② 平泳ぎにおいて、スタートとターン後の最初の一かきの始まりから、からだはうつ伏せでなければならない。
- ③ 背泳ぎにおいて、スタート・ターン後の壁から20m以内の距離では、からだは完全に水没してよい。
- ④ 自由形の各ターン及びゴールタッチでは、泳者のからだの一部が壁に触れなければならない。
- ⑤ 自由形、平泳ぎ、バタフライ、個人メドレーのスタートは、飛び込みによって行う。

36

(6) 次の文は、バスケットボール競技のルールに関する記述である。(ア)～(エ)にあてはまる数字の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- (ア) 秒ルール：ボールを持っているプレイヤーが相手に防御され、パス、シュート、ドリブルができないで、(ア)秒を超えたとき。
- (イ) 秒ルール：制限区域内に、攻撃側のプレイヤーが(イ)秒以上とどまっていること。
- (ウ) 秒ルール：コート内でライブのボールをコントロールしたチームが、(ウ)秒以内にシュートできなかったとき。
- (エ) 秒ルール：バックコート内で、ライブのボールをコントロールしたチームが、コントロール後(エ)秒以内にボールをフロントコートへ進められなかったとき(ファウルがない場合に限る)。

- ① ア 3 イ 5 ウ 8 エ 24
- ② ア 5 イ 3 ウ 24 エ 8
- ③ ア 24 イ 3 ウ 8 エ 5
- ④ ア 5 イ 8 ウ 3 エ 24
- ⑤ ア 3 イ 5 ウ 24 エ 8
- ⑥ ア 24 イ 8 ウ 5 エ 3

37

(7) バスケットボールの基本用語として、誤っているものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① プレイヤーファウル ② チャージング ③ エンドライン
- ④ ポストプレイ ⑤ トラッピング ⑥ ヘルドボール

38

(8) 次の文は、サッカーの技術に関する記述である。誤っているものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① スルーパスとは、防御者の前後の空いたスペースを、防御者の間を通したパスを使って攻めるときに用いる技術である。
- ② アウトサイドキックとは、足の外側を使って、正面や斜め前方に蹴り出したいときに用いる技術である。
- ③ オーバーラップとは、サポートの動きによって、いったん後ろに下がることでできた前方のスペースを利用したいときに用いる技術である。
- ④ インフロントキックとは、浮いたボールを送るときに用いる技術である。
- ⑤ インステップキックとは、強いボールを蹴りたいときや、ボールを遠くに飛ばしたいときに用いる技術である。
- ⑥ フェイントとは、1対1で防御をかわして突破するときに用いる技術である。

39

(9) 次の文は、サッカーのルールに関する記述である。プレイの再開方法が直接フリーキックとなるものはいくつあるか、番号で答えよ。

- ア スローインの不正投入
- イ 相手を手や体で押す
- ウ ボールを意図的に手や腕で扱う
- エ 相手を蹴ったり、蹴ろうとしている
- オ オフサイド
- カ タックルしたとき、ボールに触れる前に相手に触れる

- ① 1つ ② 2つ ③ 3つ ④ 4つ ⑤ 5つ

40

(10) 次の文は、ハンドボールに関する記述である。正しいものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① ハンドボールでは、コートには同時に8人までが出場できる（ゴールキーパーを含む）。
- ② サイドシュートとは、中央からコートの外側に向かって跳び、シュートの角度を広くし、投げることをいう。
- ③ ジャググルとは、空中にあるボールに3度続けて触れることをいう。
- ④ 攻撃やシュートをする意図がないプレイを、ポストプレイという。
- ⑤ スローオフは、前後半の開始時にのみ用いる。
- ⑥ スローインでは、ボールが出た地点のサイドラインを、片足で踏んで投げる。

41

(11) 次の図は、バレーボールに関する審判の合図である。正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- | | | | | | | | | |
|---|---|--------|---|----------|---|--------|---|----------|
| ① | ア | ボールイン | イ | ボールアウト | ウ | サービス許可 | エ | ダブルフォールト |
| ② | ア | ポイント | イ | ダブルフォールト | ウ | サービス許可 | エ | ゲームセット |
| ③ | ア | サービス許可 | イ | ポイント | ウ | ボールアウト | エ | ゲームセット |
| ④ | ア | ボールイン | イ | ダブルフォールト | ウ | ゲームセット | エ | サービス許可 |
| ⑤ | ア | ポイント | イ | ボールアウト | ウ | ゲームセット | エ | サービス許可 |
| ⑥ | ア | サービス許可 | イ | ポイント | ウ | ボールアウト | エ | ダブルフォールト |

42

(12) 次の文は、卓球に関する記述である。正誤の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア カットとは、打球の方向と同じ回転をして飛ぶボール、またはその打ち方のことである。

イ 各ゲームは、11点先取で、10対10以降は先に2点リードしたほうが勝ちとなる。

ウ 正規のサービスは、ラケットを持っていないほうの手のひらを開いてボールをのせ、10cm以上回転を与えずに垂直に投げ上げ、落下する途中で打つ。

エ サービスのボールがネットやサポートに触れて相手コートに入った場合、ポイントとなる。

オ エンドの交代は、1ゲームごとにエンドと最初のサービスを交代する。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | ○ | イ | ○ | ウ | × | エ | ○ | オ | × |
| ② | ア | × | イ | ○ | ウ | × | エ | × | オ | ○ |
| ③ | ア | ○ | イ | × | ウ | ○ | エ | ○ | オ | ○ |
| ④ | ア | × | イ | ○ | ウ | × | エ | ○ | オ | × |
| ⑤ | ア | ○ | イ | × | ウ | ○ | エ | × | オ | × |
| ⑥ | ア | × | イ | × | ウ | ○ | エ | × | オ | ○ |

43

(13) 次の文は、バドミントンに関する記述である。誤っているものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① サービスは対角線側のサービスコートに入れる。サーバー側の得点が0、または偶数のときは右側、奇数のときは左側のサービスコートからサービスを行う。
- ② わざとサービスを遅らせたときは、相手に1点が与えられる。
- ③ ドライブとは、シャトルをネットすれすれの高さでコートと平行に飛ばす打ち方のことをいう。
- ④ ラケットや体がネットやポストに触れた場合は、相手に1点が与えられる。
- ⑤ ネット際の高い位置から、相手コートの中あたり突き刺さるように飛ばす打ち方を、プッシュという。
- ⑥ 29対29になった場合は、2点リードしたほうが勝ちとなる。

44

(14) 次の文は、ソフトボールに関する記述である。(ア)～(オ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ソフトボールは、7回の攻防が終わり、得点の多いチームが勝ちとなる。7回が終わって同点のときは、8回から(ア)による延長戦を行う。

ダブルベースは、一塁手と打者走者の接触危険防止のために用いるベースで、白色ベースは(イ)地域に、オレンジベースは(ウ)地域に固定する。どんな場合でも、帰塁するときは(エ)ベースに帰塁しなければならない。

バットをチップした打球が、直接的にキャッチャーのミットに正しく捕球された打球は(オ)となる。

- ① ア ゴールデンスコア イ ファウル ウ フェア エ オレンジ オ アウト
- ② ア リエントリー イ フェア ウ ファウル エ オレンジ オ ファウル
- ③ ア タイブレーカー イ ファウル ウ フェア エ 白色 オ ストライク
- ④ ア リエントリー イ ファウル ウ フェア エ 白色 オ アウト
- ⑤ ア タイブレーカー イ フェア ウ ファウル エ 白色 オ ストライク
- ⑥ ア ゴールデンスコア イ フェア ウ ファウル エ オレンジ オ ファウル

45

(15) ソフトテニスの基本用語として、誤っているものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① ベースライン ② シュート ③ センターライン
- ④ ファイナルゲーム ⑤ ポーチ ⑥ グラウンドストローク

46

(16) 次の図は、柔道の技である。技の名前が一致する正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------|---|---------|---|------|---|-------|---|-------|
| ① | ア | 体落とし | イ | 大外刈り | ウ | 大腰 | エ | 上四方固め | オ | 横四方固め |
| ② | ア | 大腰 | イ | 大外刈り | ウ | 払い腰 | エ | 上四方固め | オ | けさ固め |
| ③ | ア | 背負い投げ | イ | 支え釣り込み足 | ウ | 体落とし | エ | 横四方固め | オ | 上四方固め |
| ④ | ア | 大腰 | イ | 小内刈り | ウ | 払い腰 | エ | けさ固め | オ | 横四方固め |
| ⑤ | ア | 背負い投げ | イ | 支え釣り込み足 | ウ | 体落とし | エ | けさ固め | オ | 上四方固め |
| ⑥ | ア | 体落とし | イ | 小外刈り | ウ | 大腰 | エ | 横四方固め | オ | けさ固め |

47

(17) 次の文は、柔道のルール（国際柔道連盟試合審判規程平成30年1月現在）に関する記述である。正しいものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① 投げ技では、相手を制しながら、大きなインパクトを伴って、背と肩が畳に着くように、相当な「強さ」と「速さ」をもって投げたときに一本となる。
- ② 固め技では、「抑え込み」の宣告から25秒間、相手を抑え込んだときに一本となる。
- ③ 軽微な違反行為に対しては「指導」、重大な違反に対しては「注意」の罰則が与えられる。
- ④ 試合場に上がる審判員は、主審3人である。
- ⑤ 延長戦の時間は、10分間である。
- ⑥ 場内で「抑え込み」が宣告された場合は、両者が場外へ出て「抑え込み」は継続される。

48

(18) 次の文は、剣道の試合に関する記述である。下線部のうち、誤っているものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

①立礼をして開始線まで進み、②^{そんきよ}蹲踞の姿勢で竹刀を③合わせる。主審の「始め」の宣告で立ち上がって試合を開始し、④「やめ」の宣告で中止する。決められた時間内に有効打突を規定数取ると勝ちとなる。時間切れのときは、主審の⑤「それまで」の宣言で試合を中止し、⑥開始線に戻る。

49

(19) 次の文は、剣道に関する記述である。反則とならないものはいくつあるか、番号で答えよ。

- ア 相手や審判員に対して非礼な言動をとる。
- イ 相手に足を掛けたり、払ったりする。
- ウ 相手が竹刀を落とした直後に打突する。
- エ 打突意思のないつばぜり合い。
- オ 相手の竹刀や、自分の竹刀の刃部を握る。

① 1つ ② 2つ ③ 3つ ④ 4つ ⑤ 5つ

50

(20) 次の文は、相撲のルールに関する記述である。誤っているものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① 競技者は放送委員から2名の名前が呼ばれたら、2名同時に土俵に上がる。
- ② けがや出血などで手当てをするときは、試合が中断される。
- ③ 立ち合いは仕切線の手前に片手を土俵につき、静止してから「はっけよい」のかけ声で立つ。
- ④ 勝者は^{そんきよ}蹲踞の姿勢で主審から勝ち名乗りを受ける。
- ⑤ 相手よりも先に土俵外に出たときに負けとなるが、送り足は負けとならない。
- ⑥ 異議または疑義の申し立てにより、協議の結果、同体と判定されたときは、取り直しとなる。

51

(21) 次の文は、創作ダンスの動きの効果に関する記述である。カノンについての説明として正しいものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 一連の動きを同時に行うこと。
- ② 同じ動きを輪唱のようにずらして行うこと。
- ③ 動きを左右対称にして行うこと。
- ④ 時計の針の進む方向と逆の方向に動くこと。
- ⑤ 動きを左右非対称にして行うこと。

52

22) 次の文は、現代的なリズムのダンスに関する記述である。誤っているものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① シンコペーションとは、強拍と弱拍の通常的位置関係を変えて、音楽のリズムに緊張感を生み出す手法のことをいう。
- ② ブレイクダンスは、背中を床に着いてぐるぐる回る動きが代表的なダンスのことをいう。
- ③ アフタービートとは、4拍子の曲の2拍、4拍のような偶数拍、または弱拍のことをいう。
- ④ ロックは、8ビートを基本としたシンプルなビートを強調し、3拍目と4拍目にアクセントをおくことが多い。
- ⑤ ヒップホップは、一般的にロックよりテンポが遅く、1拍ごとにアクセントを入れたり、強いアクセントがある強いビートをとらえることが特徴である。

【6】 体育理論に関する内容について、次の問いに答えよ。

- (1) 次の文は、スポーツの推進に関する記述である。(ア)～(オ) にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

スポーツは、国民が（ア）にわたり心身ともに健康で（イ）な生活を営む上で不可欠のものとなっている。

日本では、国が（ウ）に基づいて（エ）を定めている。自治体では、これらに基づいて（オ）を策定し、スポーツの推進に取り組んでいる。

- | | | | | |
|---|------------|-------|------------|------------|
| ① | ア 日常生活 | イ 活動的 | ウ スポーツ基本法 | エ スポーツ推進計画 |
| | オ スポーツ基本計画 | | | |
| ② | ア 生涯 | イ 文化的 | ウ オリンピック憲章 | エ スポーツ基本計画 |
| | オ スポーツ普及計画 | | | |
| ③ | ア 生涯 | イ 文化的 | ウ スポーツ基本法 | エ スポーツ基本計画 |
| | オ スポーツ推進計画 | | | |
| ④ | ア 日常生活 | イ 活動的 | ウ オリンピック憲章 | エ スポーツ推進計画 |
| | オ スポーツ基本計画 | | | |
| ⑤ | ア 日常生活 | イ 活動的 | ウ スポーツ推進計画 | エ オリンピック憲章 |
| | オ スポーツ普及計画 | | | |
| ⑥ | ア 生涯 | イ 文化的 | ウ スポーツ推進計画 | エ オリンピック憲章 |
| | オ スポーツ推進計画 | | | |

- (2) 次の文は、アンチ・ドーピングに関する記述である。(ア)～(オ) にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ドーピングという行為は、禁止物質や禁止方法によって競技能力を高め、意図的に自分だけが優位に立ち、勝利を得ようとするものである。

禁止物質または禁止方法は、(ア)、(イ)、(ウ) というこれら三つのうち二つの要件が当てはまる場合に指定される。

「世界アンチ・ドーピング機構(エ)」による「ドーピング防止規則違反」に該当する項目のうち、(オ)以上みられた際には、ドーピングとみなされる。

- | | | | |
|---|---------------|-------------|----------------|
| ① | ア 観客数増加に効果がある | イ 健康上危険である | ウ スポーツの精神に反する |
| | エ WHO | オ 一つ | |
| ② | ア 競技力向上に効果がある | イ 金銭面に負担がある | ウ 競技人口増加に効果がある |
| | エ HACCP | オ 二つ | |
| ③ | ア 観客数増加に効果がある | イ 健康上危険である | ウ 競技人口増加に効果がある |
| | エ WHO | オ 二つ | |
| ④ | ア 競技力向上に効果がある | イ 健康上危険である | ウ スポーツの精神に反する |
| | エ WADA | オ 一つ | |
| ⑤ | ア 競技力向上に効果がある | イ 金銭面に負担がある | ウ スポーツの精神に反する |
| | エ HACCP | オ 三つ | |
| ⑥ | ア 観客数増加に効果がある | イ 金銭面に負担がある | ウ 競技人口増加に効果がある |
| | エ WADA | オ 三つ | |

- (3) 次の文は、オリンピック・パラリンピックに関する記述である。(ア)～(オ) にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

オリンピックを創始したのは、(ア)であり、スポーツが青少年の教育に重要な役割を果たしていることを知り、古代オリンピックを復興させた。オリンピック・シンボルの五つの輪は、(イ)を表している。

(ア)は、スポーツによる青少年の健全育成と世界平和の実現を理念として掲げた。この理念を(ウ)と呼ぶ。そして、(ウ)を実現するために国際オリンピック委員会が中心となっておこなう活動が(エ)である。

わが国でも(オ)は、アジアで最初の国際オリンピック委員となり、スポーツによる世界平和の運動を日本に定着させた。

- | | | | | | | | | |
|---|---|--------|---|-----|---|----------|---|--------------|
| ① | ア | クーベルタン | イ | 五大陸 | ウ | オリンピズム | エ | オリンピックムーブメント |
| | オ | 嘉納治五郎 | | | | | | |
| ② | ア | クーベルタン | イ | 五大陸 | ウ | オリンピック憲章 | エ | オリンピズム |
| | オ | 新渡戸稲造 | | | | | | |
| ③ | ア | グットマン | イ | 平和 | ウ | オリンピズム | エ | オリンピックムーブメント |
| | オ | 嘉納治五郎 | | | | | | |
| ④ | ア | クーベルタン | イ | 平和 | ウ | オリンピック憲章 | エ | オリンピズム |
| | オ | 新渡戸稲造 | | | | | | |
| ⑤ | ア | グットマン | イ | IOC | ウ | オリンピック憲章 | エ | オリンピズム |
| | オ | 嘉納治五郎 | | | | | | |
| ⑥ | ア | グットマン | イ | IOC | ウ | オリンピズム | エ | オリンピックムーブメント |
| | オ | 新渡戸稲造 | | | | | | |

(4) 次の文は、スポーツに関する記述である。正誤の正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア スポーツのルールは不変であり、絶対に変えることはできない。
- イ スポーツを行う人に求められる態度や考え方をスポーツマンシップという。
- ウ 目的を達成するためにチーム全員が同じことをすることをチームワークという。
- エ スポーツの活動中では、開始時から終了まで安全に配慮することが必要である。
- オ スポーツの学び方として、「目標や計画を立てる」→「計画に沿って練習する」→「練習の成果を確かめる」→「成果に応じて目標や計画を修正する」を繰り返すことが効果的とされている。

- ① ア × イ × ウ ○ エ ○ オ ×
- ② ア × イ × ウ ○ エ ○ オ ○
- ③ ア ○ イ ○ ウ × エ × オ ×
- ④ ア ○ イ × ウ ○ エ × オ ○
- ⑤ ア × イ ○ ウ × エ ○ オ ○
- ⑥ ア ○ イ ○ ウ × エ ○ オ ×

57

(5) 次の文は、スポーツへの多様な関わり方に関する記述である。(ア)～(オ)は、A「行うこと」、B「見ること」、C「支えること」のどれにあたるか、適切な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア 視覚障害者のランナーと一緒に伴走者として走る。
- イ 会場で試合を観戦し、会場の雰囲気や運営に携わる人にも注目する。
- ウ 個人で毎日ランニングをして、地域のジョギング大会に親子で参加する。
- エ ケガをした選手が試合を録画して、チームの練習に活用する。
- オ マラソン大会に救護係として参加する。

- ① ア A イ B ウ C エ C オ A
- ② ア C イ C ウ A エ B オ C
- ③ ア A イ C ウ A エ B オ C
- ④ ア A イ C ウ C エ B オ A
- ⑤ ア C イ B ウ C エ C オ A
- ⑥ ア C イ B ウ A エ C オ C

58